

CLOSE UP!



# 周術期の口腔ケア (口腔機能管理)について

今回は、本院口腔管理センターが行っている周術期口腔機能管理（周術期口腔ケア）についてご紹介します。

■説明は  
徳島大学病院  
口腔管理センター長  
青田 桂子  
(あおた けいこ)

■お問い合わせ  
口腔管理センター  
Tel : 088-633-7371



## ● 周術期の口腔ケア

口の中には、約600種類の細菌が存在し、歯垢1mgには約1億個の細菌が存在しています。身体が健康な場合であれば問題のない細菌も、手術によって免疫が低下すると、肺炎や感染症などの合併症を引き起こし、治療を長引かせることがあるため、手術前に口の中をきれいしておくことはとても重要です。

病気が診断されてから入院～手術～回復までの期間を周術期といいます。合併症を防ぎ、円滑な治療のために本院では、平成24年から以下のような周術期の口腔機能管理（周術期口腔ケア）を開始し、令和2年度には約1,600名の患者さんに実施しました。

歯の汚れを染めると…



歯垢1mg中に  
約1億個の細菌



### 周術期口腔ケアの内容

- ・包括的口腔ケア（口腔内清掃、衛生指導など）
- ・歯性感染巣のコントロール（むし歯、歯周病治療）
- ・口腔機能の維持管理（咀嚼機能、唾液腺機能の維持など）
- ・手術時の気管挿管による歯の損傷予防のためのマウスプロテクタ作製

## 患者さんにひとこと

口腔の健康は全身の健康につながります。口腔のお困りごとがあれば歯科医師、歯科衛生士にご相談ください。また、かかりつけ歯科医を持って継続的な口腔機能管理を行うことで、いざ病気が判明した時にスムーズに治療にとりかかれます。

本院では、全身麻酔手術のうち、特にがん手術、心臓血管手術、脳外科手術、臓器移植手術、人工関節置換手術などを受ける患者さんを対象に口腔ケアを行っています。それ以外の全身麻酔手術の患者さんも地域の歯科診療所と連携し歯科のサポートを受けていただけるようにしています。

本院での全身麻酔手術が決定した患者さんには主治医より口腔管理センターへの受診をお願いしています。本センターでは、口腔内診査を行い、それを基に口腔管理計画を立て、治療の必要な方には本院歯科または地域の歯科診療所を紹介するとともに、マウスプロテクタが必要な方には型取りし、作製を開始します。手術前日には口腔内の細菌をできるだけ少なくするため歯科衛生士が口腔ケアを実施します。術後も状態に応じて、歯科医師、歯科衛生士が口腔ケアを行い、退院に際しては継続的な口腔ケアを地域の歯科診療所に依頼しています。



口腔管理センターのスタッフ

## ● 今後の目標

令和4年度には、本院で全身麻酔手術を受ける患者さん全員に口腔ケアを受けていただくことが目標です。また今後、抗がん剤治療、頭頸部の放射線治療を受ける患者さんにも口腔ケアの範囲を広げ、円滑な治療に貢献できるように努めていきたいと考えています。